

作品名 ..

いみいみ

応募者名 .. 泉宗良

作品概要

本戯曲は台詞全文が「AはA」といった同語反復で構成されており、そこには解釈の可能性と、可能性への拒絶が同居している。例えば、本戯曲で頻出する「女は女」という同語反復は、「女は所詮女」という差別的な響きを持つこともあれば、「女性であることは私の一側面に過ぎない」といった、差別への抵抗を示す台詞として（「女は女、私は私」といった具合に続けてみると分かりやすい）捉えることもでき、その解釈は読者、観客、上演に委ねられる。と同時に、同語反復は恒真命題であり、論理学上、それは何も言っていないに等しい（AはAであり、それ以上の何の意味も持たない）、解釈を拒絶する表現でもある。本戯曲は、このような同語反復の特性を活かし、現代日本における女性の客体化とその抵抗を描くと同時に、本戯曲の上演が鑑賞可能であるというその事態をもって、我々に内面化されている先入観、偏見を暴き出そうという試みである。

あらすじ

女は彼との行為中、不意に街中で自分に向けられた視線を思い出す。そこで感じた違和感は、普段のコンビニでの仕事や、実家での団欒、彼とのデートに、少しずつ影を落としていく。生理中、彼の欲求に口で答えた日の翌朝、女はヘイトスピーチに遭遇する。外国人の万引き犯を捕まえたときに、自分の心の中に差別的な気持ちがあることに気づいた女は、公園で見つけた野良猫に癒されようと手を伸ばす。野良猫に逃げられた女は、猫を愛玩動物として消費していたこと、自分もまた、彼からそのように消費されていたことに気づく。女は目を開け、彼と目を合わせて、自分の眼差しを取り戻す。

本戯曲は女性が一人で演じることを前提としているが、上演はその限りではない。

1

何もない、あるいは全てある空間。

女が現れる。

一つ一つ確かめるように、ことばにする。

ことばが観客によって解釈され、劇場が劇空間になる。

女
天井は天井

ライトはライト

壁は壁

床は床

劇場は劇場

爪先は爪先

ふくらはぎはふくらはぎ

脇腹は脇腹

鎖骨は鎖骨

脛は脛

脛の裏は脛の裏

あの日はあの日で

雨は雨だった

ことばが観客によって解釈され、劇空間があの日になる。

女
つないだ右手はつないだ右手

触れる左手は触れる左手

背中に感じるシーツの心地よい冷たさは背中に感じるシーツの心地よい冷たさまで

微かに聞こえるクーラーの音は微かに聞こえるクーラーの音

目を閉じ待っていた少しの時間は目を閉じ待っていた少しの時間

その少しの時間はその少しの時間で

また感じる、あの眼差しはまた感じる、あの眼差し

街を歩いていた私は街を歩いていた私

街路樹は街路樹 アスファルトの路面はアスファルトの路面

広告のポスターの女は広告のポスターの女

私は私

マネキンの女はマネキンの女

私は私

窓にうつる着飾った女は窓にうつる着飾った女

私は私

二重まぶたは二重まぶた

私は私

りんごの頬はりんごの頬

私は私

乳房は乳房

私は私

街は街

行き交う人々

は

行き交う人々

眼差し

は

眼差し

私は私

女は女

私は私

目を開けるとそこにある、あるだろう彼の、眼差し

は

目を開けるとそこにある、あるだろう彼の、眼差し

間。

女

誰もいない横断歩道 は 誰もいない横断歩道

繋いだ手 は 繋いだ手

離れた手 は 離れた手

じゃあね は じゃあね

バイバイ は バイバイ

コンビニ。

記号として処理することで得られる速さ。

女

若いサラリーマンは若いサラリーマン

糖質0グラムのサラダチキン257円は糖質0グラムのサラダチキン257円

チョコレートサラダ343円はチョコレートサラダ343円

若鶏の唐揚げ弁当572円は若鶏の唐揚げ弁当572円

ペットボトルのお茶159円×2はペットボトルのお茶159円×2

二膳つけるお箸は二膳つけるお箸

童顔は童顔

60番のタバコは60番のタバコ

ライター165円はライター165円

年齢確認は年齢確認

運転免許証は運転免許証

水商売風は水商売風

エナジードリンク230円はエナジードリンク230円

手間取る長いジェルネイルは手間取る長いジェルネイル

そっと置くストローはそっと置くストロー

異国の顔立ちとは異国の顔立ち

ミネラルウォーター1リットル173円はミネラルウォーター1リットル173円

ぎこちなく話す私の第二言語はぎこちなく話す私の第二言語

汚れたつなぎは汚れたつなぎ

ストロング系のロング缶220円はストロング系のロング缶220円

柿ピーミニパック108円は柿ピーミニパック108円

レジ袋Sサイズ3円はレジ袋Sサイズ3円

入れるお手拭きは入れるお手拭き

年齢確認のタッチお願ひしますは年齢確認のタッチお願ひします

いえ、そう言うわけじゃないんですけど、はい、はい、すいません、はい、

問。

女

は

いえ、

そう言うわけじゃないんですけど、

はい、

はい、

すいません、

はい、

やっぱ女ってだけで舐めてくる奴いますからねって笑う男の子にありがとうと言って
バックヤードで飲むペットボトルの水の透明さ

は

やっぱ女ってだけで舐めてくる奴いますからねって笑う男の子にありがとうと言って
バックヤードで飲むペットボトルの水の透明さ

3

駅までの帰り道。

女

おねえさん今ヒマ？ は おねえさん今ヒマ？

浮かぶ白い歯は浮かぶ白い歯

早くなる私の足は早くなる私の足

電話がかかってきたふりをする。
駆け足。

女

もしもしえ今どこで何してる？

わかったうんすぐ向かうね

大丈夫もう着くと思うから

地下だよね、うん、今

12番出口入ったところ

は

もしもしえ今どこで何してる？

わかったうんすぐ向かうね

大丈夫もう着くと思うから

地下だよね、うん、今

12番出口入ったところ

いつだって心地よい地下の空調はいつだって心地よい地下の空調で
ほぐすように開く私の手のひらはほぐすように開く私の手のひら

汗で服が張り付いて、気持ち悪いと思って、思ってしまった、私の身体は汗で服が張り付いて、気持ち悪いと思って、思ってしまった、私の身体は

駅のホームに響くアナウンスは駅のホームに響くアナウンス
人身事故は人身事故

ノイズキャンセリングするイヤホンはノイズキャンセリングするイヤホン

カワイイ猫の動画はカワイイ猫の動画

流れて来る切り抜きは流れて来る切り抜き

愛くるしい瞳は愛くるしい瞳

触り心地の良さそうな身体は触り心地の良さそうな身体

庇護欲を刺激する存在は庇護欲を刺激する存在

4

家。

女

台所に立つ妹 は 台所に立つ妹

肉を焼く妹の配偶者 は 肉を焼く妹の配偶者

そして姪 は そして姪

週末、庭、バーベキュー は 週末、庭、バーベキュー

お姉ちゃんはいいい人とかいないの？

は

お姉ちゃんはいいい人とかいないの？

付き合って3年、入社して2年、仕事も落ち着いてきた彼

は

付き合って3年、入社して2年、仕事も落ち着いてきた彼

適齢期 は 適齢期

好き は 好き

台所に立つ妹 は 台所に立つ妹

食器を準備する私 は 食器を準備する私

肉を焼く妹の配偶者 は 肉を焼く妹の配偶者

姪に言葉を教える父 は 姪に言葉を教える父

縁側から聞こえてくる姪の笑い声 は 縁側から聞こえてくる姪の笑い声

椎茸は椎茸
ピーマンはピーマン
にんじんはにんじん

盛り付けられる野菜たち
は
盛り付けられる野菜たち

お勤め先は？と聞く母、ご飯をよそいながら
は

お勤め先は？と聞く母、ご飯をよそいながら

女は女

適齢期の女は適齢期の女

非正規雇用の女は非正規雇用の女

5

コンビニ。

記号として処理することに心も体も慣れてしまうことで得られる速さ。

女

若いサラリーマンは若いサラリーマン

糖質0グラムのサラダチキン257円は糖質0グラムのサラダチキン257円

チヨレギサラダ343円はチヨレギサラダ343円

若鶏の唐揚げ弁当572円は若鶏の唐揚げ弁当572円

ペットボトルのお茶159円×2、は、ペットボトルのお茶159円×2

二膳つけるお箸、は、二膳つけるお箸

童顔は童顔

60番のタバコは60番のタバコ

ライター165円はライター165円

年齢確認は年齢確認

運転免許証は運転免許証

水商売風は水商売風

エナジードリンク230円はエナジードリンク230円

手間取る長いジェルネイルは手間取る長いジェルネイル

そつと置くストローはそつと置くストロー

異国の顔立ちは異国の顔立ち

ミネラルウォーター550ミリリットル108円は

ミネラルウォーター550ミリリットル108円

ぎこちなく話す私の第二言語はぎこちなく話す私の第二言語
流暢に話す彼の日本語

は、

流暢に話す彼の日本語

やるせなさそうに笑う彼は、やるせなさそうに笑う彼で

6

週末。

地下鉄の駅のトイレ。

女

一週間遅れで来た生理 は 一週間遅れで来た生理

赤黒いトイレットペーパー は 赤黒いトイレットペーパー

女は女

地下鉄の駅のトイレは地下鉄の駅のトイレ

化粧室の鏡は化粧室の鏡 写る私の顔は写る私の顔

中学校の校舎は中学校の校舎 昼休みの教室 は 昼休みの教室

飛び交っていた噂は 飛び交っていた噂

妊娠 は 妊娠

来なくなったあの子は来なくなったあの子

相手のサッカー部は相手のサッカー部

クラスメイトはクラスメイト

私は私

すれ違った渡り廊下はすれ違った渡り廊下

冷房のきいた店内は冷房のきいた店内

昼用ナプキン145円 は 昼用ナプキン145円

男性店員は男性店員

尋ねる彼は尋ねる彼 で 答える私は答える私

入れてもらう紙袋は入れてもらう紙袋

夜は夜

待ち合わせた彼は待ち合わせた彼

金曜日は金曜日

イタリアン は イタリアン

流れる楽しいな時間 は 流れる楽しいな時間
食後の紅茶は食後の紅茶
彼が、払ってしまう会計 は 彼が、払ってしまう会計で

まだ明るい夜の街 は まだ明るい夜の街

右側の扉が開きます は 右側の扉が開きます

左側の扉にもたれた私の身体 は 左側の扉にもたれた私の身体

少しだけ、強く握るドア横のバー は 少しだけ、強く握るドア横のバー

一人で暮らすには十分な広さの彼の部屋は一人で暮らすには十分な広さの彼の部屋
隣に座る彼は隣に座る彼

沈み込むソファーは沈み込むソファー

眺める「V」シヨール は 眺める「V」シヨール

腰骨に引っかかる彼の手のひらは腰骨に引っかかる彼の手のひら

きちゃって、アレ、は、きちゃって、アレ、

そっか、は そっか、

仕方ないね は 仕方ないね

微笑む彼 は 微笑む彼

でも、その、一瞬の表情 は でも、その、一瞬の表情 で

窓から見える、まだ明るい夜の街 は 窓から見える、まだ明るい夜の街

好きは好き

ては て

くち は くち

持て余した、彼、私、わたしたち

は

持て余した、彼、私、わたしたち

好きは好き

こっち見てと言う彼はこっち見てと言う彼

見上げる私は見上げる私

上目遣いは上目遣い

私の上目遣い眺める彼の眼差しは私の上目遣い眺める彼の眼差し

好きは好き

好きって言うってと言う彼は好きって言うって言う彼
好きは好き

私に好きって言わせている時の彼の眼差しは私に好きって言わせている時の彼の眼差し

間。

女

私は私

女は女

私は

女

は

私は女

溶暗。

7

明転。

女朝

は、

朝

誰もいない繁華街 は 誰もいない繁華街

日の光が焦がす静けさ は 日の光が焦がす静けさ で

タバコの吸い殻 は タバコの吸い殻

私の歩幅 は 私の歩幅

私の時間 は 私の時間

拡声器から音。

デモのシュプレヒコールのような多数の人間による声が、
何度も繰り返される。

声

日本人は日本人
外国人は外国人

在日は在日

白人は白人

黒人は黒人

私たちは私たち

あなたたちはあなたたち

日本人は日本人

外国人は外国人

在日は在日

白人は白人

黒人は黒人

私たちは私たち

あなたたちはあなたたち

日本人は日本人

外国人は外国人

在日は在日

白人は白人

黒人は黒人

私たちは私たち

あなたたちはあなたたち

日本人は日本人

外国人は外国人

在日は在日

白人は白人

黒人は黒人

私たちは私たち

あなたたちはあなたたち

日本人は日本人

外国人は外国人

在日は在日

白人は白人

黒人は黒人

私たちは私たち

あなたたちはあなたたち

8

コンビニ。

記号として処理することに心も体も慣れて、いや疲れてしまった速さ。

女

廃棄のおにぎり明太子味178円は廃棄のおにぎり明太子味178円
品出しするクリームパン127円は品出しするクリームパン127円
廃棄のヨーグルト203円は廃棄のヨーグルト203円
品出しするポテトチップス193円は品出しするポテトチップス193円
廃棄のサンドイッチ248円は廃棄のサンドイッチ248円

休憩いただきます は 休憩いただきます

カップ麺254円 は カップ麺254円

ながら見するSNSはながら見するSNS

刺さるブルーライト は 刺さるブルーライト

遠くで聞こえるサイレン音は遠くで聞こえるサイレン音
少し騒がしい外は少し騒がしい外

静かなバックルーム

は

静かなバックルーム

深夜時給1346円は深夜時給1346円

カワイイ猫の動画はカワイイ猫の動画

流れて来る切り抜きは流れて来る切り抜き

愛くるしい瞳は愛くるしい瞳

触り心地の良さそうな身体は触り心地の良さそうな身体

庇護欲を刺激する存在は庇護欲を刺激する存在

30分後に設定する目覚ましは30分後に設定する目覚まし

仮眠 は 仮眠

9

勢いよく立ち上がる。

女

捕まえた、万引き犯 は 捕まえた、万引き犯

どこかカタコトの謝罪 は どこかカタコトの謝罪

あったか〜い 缶コーヒー128円 は あったか〜い 缶コーヒー128円

犯人は犯人
外国人は外国人

犯人は外国人

間。

女 は、

犯人は外国人

私は私

日本人は日本人

私は日本人

は、

私は日本人

あったか〜い 缶コーヒー128円 は あったか〜い 缶コーヒー128円

10

公園。

女 公園のベンチ は 公園のベンチ

座る私 は 座る私

座る猫 は 座る猫

愛くるしい瞳は愛くるしい瞳

触り心地の良さそうな身体は触り心地の良さそうな身体

庇護欲を刺激する存在は庇護欲を刺激する存在

私は、猫を撫でたいと思って、ゆっくりと、こっそりと、近づいて、

猫に、触れた

彼？彼女？の体温が私の手のひらに伝わって、すぐに消える

目まぐるしい速さ 20メートル先 茂みに入る直前

振り返って私を見た、彼？彼女？の自由な身体、自由な眼差し

は、

私は、猫を撫でたいと思って、ゆっくりと、こっそりと、近づいて、

猫に、触れた

彼？彼女？の体温が私の手のひらに伝わって、すぐに消える

目まぐるしい速さ 20メートル先 茂みに入る直前

振り返って私を見た、彼？彼女？の自由な身体、自由な眼差し

1
1

女

私は今感じたことを誰かに話したくて彼に電話をかけた働いているコンビニで万引きがあったこと犯人を捕まえたことその犯人が多分外国人だったことそのとき思わず私の心の中に生まれた気持ちのこと猫に触れたこと猫の体温がそこにあったこと振り返って私を見たこと猫が自由に見えたことでもそれもまた私の思い込みかもしれないことやきつと思ひ込みの違いなくて私は猫を驚かせてしまったことすると彼は淡々とした口調で話した万引きを捕まえるなんて危ないよ逆上して殴られたりしたかもしれないのに相手がナイフとか持っていたらどうするのバイトなんだしそこまで頑張る必要ないよワンオペとかじゃないよねそういうのは大学生の若い男の子とかに任せたら良いよ野良猫を素手で触るなんて汚いよていうか心配だよ万引きなんて君が嫌じゃないなら仕事やめて一緒に暮らすとかでも良いんだよそういうこと考える年齢だよ僕たち

は

私は今感じたことを誰かに話したくて彼に電話をかけた働いているコンビニで万引きがあったこと犯人を捕まえたことその犯人が多分外国人だったことそのとき思わず私の心の中に生まれた気持ちのこと猫に触れたこと猫の体温がそこにあったこと振り返って私を見たこと猫が自由に見えたことでもそれもまた私の思い込みかもしれないことやきつと思ひ込みの違いなくて私は猫を驚かせてしまったことすると彼は淡々とした口調で話した万引きを捕まえるなんて危ないよ逆上して殴られたりしたかもしれないのに相手がナイフとか持っていたらどうするのバイトなんだしそこまで頑張る必要ないよワンオペとかじゃないよねそういうのは大学生の若い男の子とかに任せたら良いよ野良猫を素手で触るなんて汚いよていうか心配だよ万引きなんて君が嫌じゃないなら仕事やめて一緒に暮らすとかでも良いんだよそういうこと考える年齢だよ僕たち

あの日に戻る。

あの日感じたことを信じる。

女 臉の裏は臉の裏

あの日はあの日で

雨は雨だった

つないだ右手はつないだ右手 触れる左手は触れる左手

背中に感じるシーツの心地よい冷たさは背中に感じるシーツの心地よい冷たさで

微かに聞こえるクーラーの音は、微かに聞こえるクーラーの音

目を閉じ待ってた少しの時間 は、目を閉じ待ってた少しの時間

その少しの時間はその少しの時間で

また感じる、あの眼差し

を

跳ね返すように、彼と目を合わせる、私の眼差し

は

また感じる、あの眼差し

を

跳ね返すように、彼と目を合わせる、私の眼差し

1
2

目を合わせている。

彼と。

観客と。

演出家と。

脚本家と。

女と。

目を合わせている。

女を演じている俳優 女 私私私

あなたはあなた

私のことばは私のことば

あなたのものではない

私の身体は私の身体

あなたのものではない

私の欲望は私の欲望

あなたのものではない

あなたのことばはあなたのことば

私のものではない

あなたの身体はあなたの身体
私のものではない
あなたの欲望はあなたの欲望
私のものではない

私はあなたのことを演じる必要はない
私はあなたの身体を演じる必要はない
私はあなたの欲望を演じる必要はない

あなたは私のことを演じる必要はない
あなたは私の身体を演じる必要はない
あなたは私の欲望を演じる必要はない

は、

女 私私

あなたはあなた

私のことは私のことば
あなたのものではない
私の身体は私の身体
あなたのものではない
私の欲望は私の欲望
あなたのものではない

あなたのことはあなたのことば
私のものではない
あなたの身体はあなたの身体
私のものではない
あなたの欲望はあなたの欲望
私のものではない

私はあなたのことを演じる必要はない
私はあなたの身体を演じる必要はない
私はあなたの欲望を演じる必要はない
あなたは私のことを演じる必要はない
あなたは私の身体を演じる必要はない
あなたは私の欲望を演じる必要はない

女を演じている俳優 女は部屋を立ち去る。

は、

女は部屋を立ち去る。

13

何もない、あるいは全てある空間。

女が現れる。

一つ一つ確かめるように、ことばにする。

女 街を歩いていた私、は、街を歩いていた私

街路樹は街路樹 アスファルトの路面はアスファルトの路面

広告のポスターの女は広告のポスターの女

私は私

マネキンの女はマネキンの女

私は私

窓にうつる着飾った女は窓にうつる着飾った女

私は私

二重まぶたは二重まぶた

私は私

りんごの頬はりんごの頬

私は私

乳房は乳房

私は私

街は街

行き交う人々

は

行き交う人々

眼差し

は

眼差し

私は、私

女は、女

私は、私

目を開けるとそこにある、あるだろう私の、眼差し
は

目を開けるとそこにある、あるだろう私の、眼差し

天井は天井

ライトはライト

壁は壁

床は床

世界は世界

おわり。